

## 小児腎細胞癌の診療および予後の実態調査に関する研究

### 1. 研究の対象

2005年1月1日～2024年12月31日に当院で診療を開始した20歳未満の小児腎細胞癌の方

### 2. 研究目的・方法

小児の腎腫瘍は、他の悪性固形腫瘍と同様にその発症率は成人と比較して非常に低く、腫瘍の組織型にも小児特有の特徴です。小児腎腫瘍には、Wilms腫瘍、腎細胞癌、腎明細胞肉腫、腎ラブドイド腫瘍などが含まれます。このうち腎細胞癌は元来成人期に多い腫瘍であるが、小児期の腎細胞癌は成人症例とは発生機序や生物学的特徴が異なるとされ、その長期予後についての報告は少なく、特に進行症例の治療方法は確立されていません。小児腎細胞癌に対する治療内容は各施設の判断で決定されており、実際にどのような治療が行われたかその詳細は不明です。また日本における小児腎細胞癌の予後に関する報告は調べた限り存在しません。以上の背景を踏まえ、本研究では日本小児がん研究グループ（JCCG）登録施設にアンケートを行い、20歳未満の小児腎細胞癌症例の患者背景、腫瘍の進行度、病理組織型、治療内容と予後を調査し、日本における小児腎細胞癌の診療実態を明らかにすることを目指します。

### 3. 研究期間

当院研究許可日～2026年12月31日まで

### 4. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、副作用等の発生状況 等

試料：通常の医療行為（生検、手術）にて得られたり、病理診断がなされたりした組織の残余検体

### 5. 研究に用いる試料・情報の取得方法

カルテから4の情報を取得します。

通常の臨床の中で既に採取した組織の残余検体を使用します。

### 6. 外部への試料・情報の提供及び公開

本研究に関する試料・情報は大阪母子医療センター（研究代表者：銭谷昌弘）へ提供され、特定の関係者以外がアクセスできない状態で利用されます。個人が識別できる情報は、当センターの研究責任者のみが保管・管理するため、院外へ提供されることはありません。また、埼玉県立がんセンター病院長が責任をもって管理・監督します。

本研究成果については学会、論文等で報告する予定です。学会や論文で発表する際は、個人が特定される情報は削除したうえで発表を行います。

## 7. 研究組織

大阪母子医療センター 錢谷昌弘

日本小児がん研究グループ (JCCG) 登録施設：207 施設

登録施設一覧：[https://jccg.jp/wp-content/uploads/JCCGbyouin\\_kaiin20240614.pdf](https://jccg.jp/wp-content/uploads/JCCGbyouin_kaiin20240614.pdf)

## 8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には当該試料・情報の利用・提供を行いません（利用・提供を停止します）ので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町大字小室 780 番地

TEL：048-722-1111/FAX：048-722-1129

研究責任者：埼玉県立がんセンター 泌尿器科 松岡 陽

研究代表者

地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪母子医療センター

小児外科 錢谷昌弘

〒594-1101 大阪府和泉市室堂町 840

Tel：0725-56-1220, Fax：0725-56-5682

E-mail：mazeni@wch.opho.jp